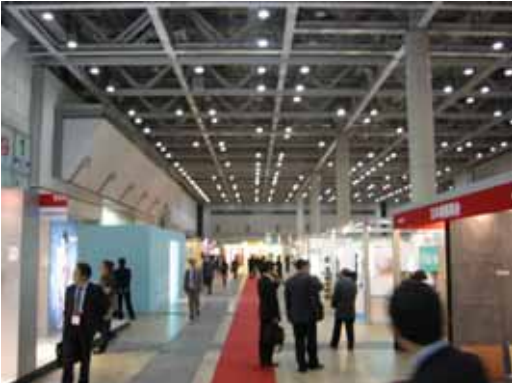


## ■報告— IPEC 21—2003



「健康な環境・Ⅲ」をテーマに、「デザイン」をキーワードに、今年も10月22日(水)から24日(金)までの3日間、東京ビッグサイト西1ホールで『IPEC 21—2003』が開催され、昨年を上回る17,682名の方々が来場されました。出展128企業・団体、166ユニットの出展と昨年より少なかったものの、新しい試みとして行われた「デザイナーズ・ショーケース」に54名(内招待デザイナー10名)の参加をいただき、昨年にも増して充実した展示内容となりました。

また、今年の基調講演は一昨年と同様、「建築に夢をみた」というテーマで建築家の安藤忠雄氏にお願いし、定員を大幅に上回る参加者となり、入場をお断りするほどの盛況振りとなりました。そのため、安藤氏のご好意により、急遽展示会場での15分ほどの特別講演を開いていただきました。この他のセミナーも実践的な「これからの商空間はこうなる」、デザインの将来を語る「未来家具」、健康な環境というテ

マにマッチした「キープ自然学校」など昨年とは一味違った企画で、多数の方々に参加いただきました。この他、特別企画展「ル・コルビジエ アート・ワークス」や、最新のスウェーデン・デザインが溢れる「スウェーデン・クリエイティブ・ジャングル」なども開かれ、幅広い企画となりました。

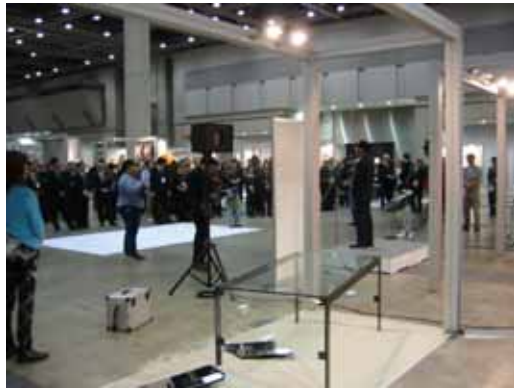
(文責 羽沢)

## ■ IPEC21—2003 を終えて

IPEC21 実行委員長

中川 誠一

第3回目を迎えたIPEC21は、プロのためのプロによる展示会として、定着してまいりました。昨年より若干少ない出展となりましたが、今年の特徴は「健康な環境」というテーマを理解して出展された企業が多かったことです。またキーワードの「デザイン」を視野に入れて、展示レベルが、例年より数段上がったという評価を、多くの来場者は感じることが出来たのではないのでしょうか。また、初めての試みである、プロと企業がコラボレートし



て発信・提案する「デザイナーズ・ショーケース」は多くの方々から評価をいただきました。特に、来年1月パリで開かれる国際家具見本市である「ムーブル・パリ」の主催者より出展の要請があり、数点が出展されることになったことは、日本からのインテリア発信として大変うれしいニュースとなりました。

来年も新たなテーマでIPEC-2004を開催いたしますので、皆様のご協力をお願いいたします。

■速報—IPEC21—2003出展者表彰  
今年の受賞者は以下の方々です。おめでとうございます。各受賞者の感想、審査委員会からのコメントなどは次回発行のインフォメーションに掲載予定です。

○IPEC大賞

ドンブラハ

○スペースデザイン賞

株式会社日建スペースデザイン

○プランニングデザイン賞

ダントー株式会社/株式会社トミタ

○新技術賞

株式会社エー・ジー・クルー

○奨励賞

アース・スタジオ株式会社

日本襖振興会

HiHiHi

株式会社三菱地所

/株式会社メック・デザイン・インター

ナショナル

○デザイナーズ・ショーケース賞

ISK・DSプロジェクトチーム

「貝塚恭子・下津浦和子

・野田和子・宮城由紀子」

株式会社大塚家具

株式会社杉原商店

## ■ JIPAT 設立 10 周年記念総会について

10周年記念事業実行委員会  
委員長 浦 一也

1994年6月、JIPAT 設立準備幹事会が発足。翌95年に設立総会が開かれ、JIPAT は本格的に活動を開始したのですが、いよいよ来年は設立10周年を迎えます。

協会では記念事業特別委員会を設けて、記念事業のありかたを考えてまいりましたが、現在は実行委員会に切り替えて、その企画の具体案を検討しております。

記念総会は来年の春、5月29日(土)と定め、この11月には会場となる東京都庭園美術館新館大ホールの利用申し込みも

済ませました。

この10年の協会活動の歩みを思い起こし、これからのJIPATの発展を願う楽しい祝祭にしたいと考えております。また、これを機に、新しい会員名簿付きのジャーナル記念号も発行いたします。

庭園美術館はご承知のように、1933年に朝香宮邸として造られたアールデコ様式の美しい建物です。美術館として公開されていますが、このたび、非公開であった部屋も公開されて話



題を呼んでいます。当日は土曜日ではありませんが、この由緒ある建物とインテリアデザインを鑑賞し、総会の後に予定しているシンポジウムで「東京のこれからのデザイン」に思いをいたすことも一興かと思えます。懇親会ではみなさんが参加できる楽しい企画も進んでおりますし、天気がよければ広い庭園の利用も可能です。何卒万障お繰り合わせの上、大勢でこの催しを盛り上げていただきたいと切に願っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

実行委員: 濱弘美、戸矢崎弘美、藤本文明、稲垣雅夫、立石博巳、中川栄治、霜野隆、羽澤昌子、浦一也

## ■新商品紹介 アイデック

4000シリーズ THONET

木のエレガントなカーブはトーネットが得意とする伝統ですが、この椅子も積層成型合板のウッドシェルが、背と座、アームを抱きかかえるように取り付けられ、その明快さによって快適感を強めています。背と座を分けるようになり貫かれたウッドシェルが、この椅子を際立たせ、後ろ姿を美しいものにしました。オフィスや公共のラウンジなどで清澄さを漂わせ、凛とした空気をもたらすでしょう。

Jehs and Laub

Jürgen

Laub (ユー

ガン・ラウブ

/1964年生まれ)とMarkus Jehs (マルクス・イエーズ/1965年生まれ)は、1992年にSchwäbisch Gmündのデザインアカデミーで彼らの学業を修め、プロダクトデザイナーの資格を取りました。1994年、彼らはJehs and Laub DESIGNを設立するためにチームを組みました。そのときから彼らは、世界でも有名な家具メーカーや照明メーカーと仕事

をしてきています。トーネットとは2001年に発表されたS550が最初の仕事です。



■連載 3分間のタイムスリップ③  
ジャコビアン様式

i & i インテリア総合デザイン室 井上 常雄

三浦按針といえばウィリアム・アダムスのことであることはだれでも知っているが、いつごろの人かときくと即座に答えにくいのは、イギリス人で「リフリーデ号」で日本に漂着した人物で、それも1600年の関ヶ原の合戦のあった年です。独身で通したエリザベスが亡くなったのも1603年で、江戸幕府の開府の年にもあたり、丁度400年になります。 第3回目の今回はこの17世紀初めから進めていきます。

ヘンリー8世が残した国教会をなんとかエリザベスが完全なものにしつつあるとき、フランスはスコットランドを手の中にし、なんとしても国教会を崩そうとしていた。そんなおり、フランスのフランソワ2世に嫁いでいたメアリーが、夫が亡くなるとスコットランドに帰国し、王位につきプロテスタントを弾圧し、またイングランドの正当な王位継承者は自分であると主張しつづけたが、貴族達に追い出され、息子に王権を譲位してイングランドに逃げ込んできた。フランスとも手をつなぎ国教会も脅かす、エリザベスにとっては目の上のたんこぶは、幽閉しておくしか方法がなかった。それも19年



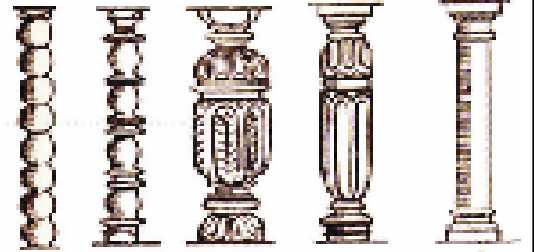
ジェームス1世の椅子

洗礼名が「JACOB」だったことから名付けられている。またオークの時代とも呼ばれていてオークは「森林の王」とも言われ、聖なる木として教会建築材料として、ワインなどの樽に使われている。硬くて丈夫なことから「オークのような」と表現されている。カリフォ



現在ポビン型 (A) と呼ばれているモチーフが流行しはじめた。

という長いあいであつた。そしてついにエリザベスの暗殺計画をしたとされ、断首の刑になった。エリザベス亡きあと王位に付くのは、奇しくもメアリー・スチュアートの子供のスコットランド王ジェームス6世であつた。ここに17世紀革命の時代と呼ばれるスチュアート朝がスタートするのである。家具の歴史から見るとこの時代をジャコビアン様式 (1603~1625) と呼んでいる。これはジェームス1世の



カップアンドカバーから花瓶の様なかたちに変った (C, D)

ルニア知事になったシュワルツネガーさんもボデービルダーの時は「オーストリアン・オーク」のあだ名あつたようです。それゆえに我が国では「オーク=樫」の誤訳があつたのも当然かと。フランスでは「シェーナ」ドイツでは「アヘイ」と呼ばれるこの木もヘンリー8世が造船のために大量に使つたため、大木は無くなり初めていた。だが一方これゆえに無敵艦隊と呼ばれたスペイン軍を破つたのも事実である。



このポビン型を縦にスライスして箱物家具の枠組みや扉に使つた



リネンひだ折り

この時代一貫して流行つたのがリネンフォルドであつた

■ イベント案内~パートI

代官山アートフェア2003  
今年も代官山アートフェアが12月5日(金)~7日(日)にヒルサイドテラスで開かれます。「アートで元気になる」をテーマに、同時に開催になる代官山インスタレーション'03展とも併せ、代官山の魅力を知り、楽しむきっかけ作りになるシンポジウムやレクチャー、その他様々なイベントを行います。入場は無料(シンポジウム、レクチャーは有料)です。是非、ご参加ください。  
会期: 2003年12月5日(金)~7日(日)  
会場: ヒルサイドテラス 渋谷区猿樂町18-8 ヒルサイドテラスF棟 1F  
主催: ヒルサイドテラス  
\* お問い合わせ: 代官山アートフェア2003事務局ヒルサイドテラスA棟 アートフロントギャラリー内  
TEL03-3476-4868 FAX03-3476-4874  
担当 山田, 飛田, 熊谷  
e-mail: artfair@artfront.co.jp  
http://www.artfront.co.jp  
○シンポジウム「六本木ヒルズと代官山~都市はどこへ向かうのか~」  
日時: 12月5日(金) 19:00~20:30  
パネリスト: 五十嵐太郎, 川俣正, 隈研吾, 他 進行: 槻橋修  
参加料: 1,000円 定員100名(予約制)  
○レクチャー「都市と地球の交換II」  
日時: 12月6日(土) 19:00~20:30  
参加料: 500円 定員100名(予約制)  
講師: 北川フラム 進行: 槻橋修  
○ジュエリー・クイッキーズ  
会場: ヒルサイドフォーラム 各日13:00~予約可。料金1000円  
アーティストの大山由華さんによる即興ジュエリーパフォーマンス  
○その他 代官山楽市楽座、プリントバザー

ル、広場の市など

■ イベント情報~パートII

Humanizing Design セミナー  
「高齢者グループリビングを考える」  
(社)日本インテリアデザイナー協会  
本部教育研究委員会 担当理事山本棟子  
Humanizing Design をテーマに、デザイナーと立場の異なる方々との接点をさぐるセミナーも3回目となりました。毎回多数のご参加を得て、それぞれの仕事上の接点をみつけていただいております。  
今年、高齢者の共生住宅「グループリビング」を考えるセミナーを開催します。  
「グループリビング」とは賃貸中心の高齢者住宅で、自立して生活できる時期に入居します。生活スペースの一部を入居者共有で過ごす共生住宅です。急速な少子化、高齢化が進む日本で、高齢者のグループリビング「COCO 湘南台」を計画し、実践していらっしゃる西條節子さんを講師としてお迎えし、一人で生活することに不安を感じ始めた高齢者の、グループリビングについて考え、Humanizing Design ユニバーサルデザインの向上につながることを期待いたします。  
講師: 西條 節子氏 グループリビングCOCO 湘南台 の生活者、コーディネーター  
開催日時 2003年11月25日(火) 6:30pm~8:30pm (受付開始5:30)  
会場 リビングデザインセンターOZONE 8階 セミナールーム A  
会費 一般1500円, JID会員・OZONE プロフェッショナル会員1000円、学生500円  
定員70人(先着順)キャンセルの場合は、必ず事務局へご連絡ください  
主催(社)日本インテリアデザイナー協会  
本部教育研究委員会

後援 リビングデザインセンター OZONE  
申し込みと連絡 FAX03-5322-6559 E-mail honbu@jid.or.jp

■ お知らせ

ユニオン東京ショールーム移転  
ユニオン東京ショールーム(アトリエユニオン)が、11月4日(月)日本橋に移転しました。新しいショールームは、日本橋のロケーションを生かした多目的スペースで、建築・インテリアデザインのプランが生まれる「発祥の場/ゆりかご(CRADLE)」をテーマに、ゆるやかな曲面を生かした柔らかさで、創造力を揺さぶるような空間です。



新ショールーム: 東京都中央区日本橋室町さくら室町ビル  
TEL03-3517-1818 FAX03-9517-1819  
営業時間: 平日9:00AM~土~(日・祝日は定休日)

■ 編集後記

まだIPECの熱も覚めやらぬうちに、ホカホカの情報をお届けします。情報委員会では、引き続き皆様からの情報をお待ちいたしております。情報、原稿の送り先: news@jipat.gr.jp